

財政の しおり

(かのやの予算)



令和 7 年度版
鹿屋市 総務部財政課

財政って何だろう？

みなさんは「財政」という言葉を聞いたことがありますか？

財政とは、私たちが健康で豊かな生活を送れるよう、国や地方公共団体が様々な公共サービスを提供していくために、税金などのお金を集めて、住民のための仕事に必要なお金を支払っていく経済活動のことです。

この「財政のしおり」では、「予算」や「決算」など財政の流れや仕組のほか、鹿屋市が実際に行っている仕事や財政状況について紹介していきます。

みなさんの生活と深いつながりがある「鹿屋市の財政」について、一緒に学びましょう。

目次

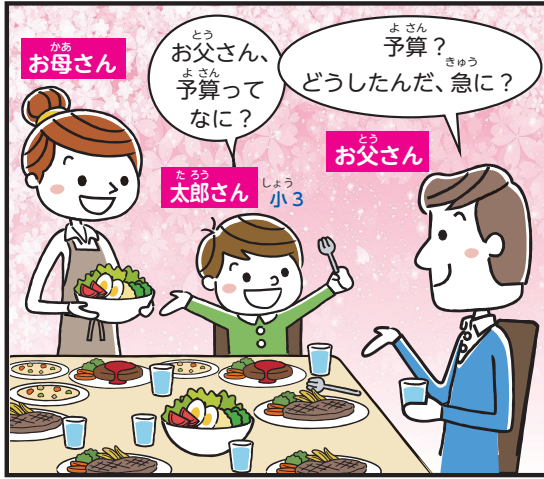
はじめての財政	2	決算のしくみ	9
予算のしくみ	3	鹿屋市の決算	10
歳入予算	5	決算からわかること	11
歳出予算	6	鹿屋市のしごと・7つの推し	13
令和7年度の予算	7	主な事業(しごと)	17
『かのや家』の家計簿	8	財政のギモン	20
		財政用語集	21



鹿屋市 PR 特命係長
かのやカンパチロウ

はじめての財政

★ある日、太郎さんの家の食卓で…。

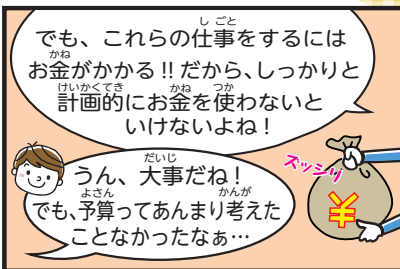


とうがくろ しどう せいび
通学路（市道）の整備

いえ で かいしゅう
家から出るごみの回収



とうがくろ こうえん せいび いえ
通学路や公園の整備、家から出されるごみの処理なども市の仕事なんだよ！



ポイント



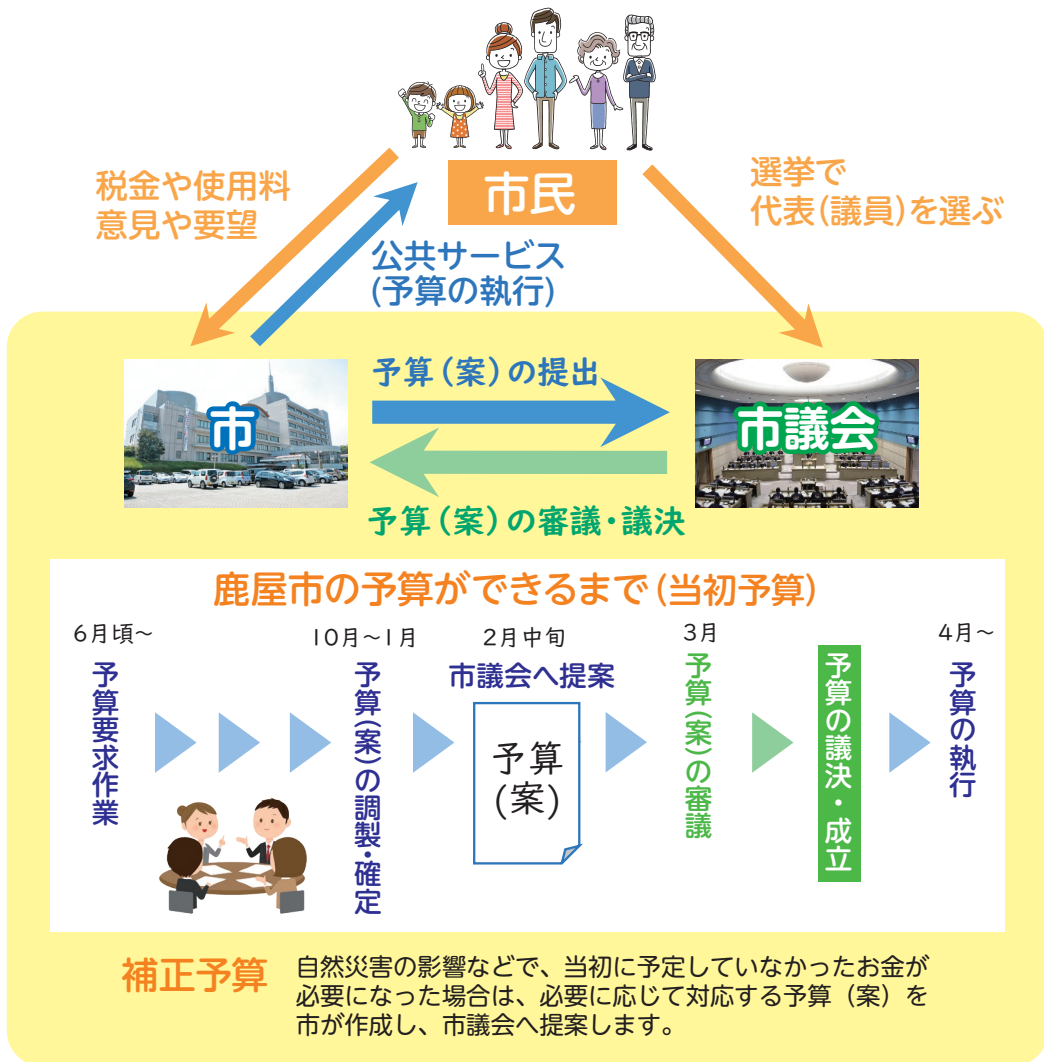
「予算」と「決算」の意味について理解しよう。

予算のしくみ



予算ができるまで

市民の安全・安心な生活を守る活動や暮らしを豊かにするための活動、将来への計画的なまちづくりのために予算が作られ、市議会へ提案されます。



予算と会計

鹿屋市の予算には、一般会計と特別会計のほか、独立採算による特定の事業を管理する公営企業会計の3種類の会計(財布)があります。

一般会計

福祉や教育、道路整備など、基本的な行政サービスに必要なお金を管理する会計。家計に例えるなら生活費に使うお金を出し入れする財布です。



特別会計

特定の目的のための会計。お金の出入りを区別するために一般会計と別にしています。

- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計

公営企業会計

民間企業と同じように、利用者から料金をもらって事業を行っている会計。

- 鹿屋市水道事業会計
- 鹿屋市下水道事業会計

歳入予算 (1年間の収入)

歳入とは、収入のことです。市民のみなさんに納めていただく税金や施設の使用料のほか、国や県から交付されるお金などが主な収入となり、歳入予算として組み込まれます。

歳入予算の内訳

自主財源

市税や施設使用料など、鹿屋市が自主的に集めることができる収入



歳入科目	説明
市税	市民のみなさんに納めていただく税金
分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただくお金
使用料及び手数料	各施設の使用料や、証明書交付手数料など
繰入金	市の基金(貯金)からの取崩しなど
寄附金	ふるさと納税などによる市への寄附
その他	財産収入や前年度からの繰越金など

依存財源

道路や施設を建設する時に国や県からもらう補助金や、借り入れる市債など、使い道が定められた収入



歳入科目	説明
地方交付税	すべての地方公共団体が行うべき事務の、一定の水準を維持するための財源として、国が交付するお金
国庫支出金	市の行政サービスを行うために、国や県から交付されるお金
県支出金	
市債	国や金融機関などからの借入金
譲与税・交付金 (交通安全対策特別交付金を含む)	国や県が集めた税金を各自治体へ再配分する譲与税や交付金など



自主財源 の比率が高いほど、自由に使える財源が多い。

鹿屋市は自主財源よりも依存財源のほうが多い状況です。自主財源を増やすことが鹿屋市の重要な課題だね。



歳出予算

(1年間の支出)

歳出とは、支出のことです。歳出予算は、子育てや福祉、道路・学校の整備、災害復旧などの目的に応じて使われます。歳出予算の目的を確認することで、何のために使う予算なのか知ることができます。

歳出予算の内訳(目的別)

議会費



議員の報酬や議会の運営費

総務費



庁舎の管理、税金の徴収、地域振興、防犯対策など

民生費



子ども、高齢者、障がい者の福祉増進など

衛生費



健康管理、ごみ、し尿の処理など

労働費



雇用対策、労働者の福祉向上など

農林水産業費



農業、林業、畜産業、水産業の振興など

商工費



商店街や中小企業の支援、観光振興など

土木費



道路、公園、市営住宅等の維持管理・整備など

消防費



消防業務、災害対策など

教育費



学校の管理運営、整備、スポーツ振興など

災害復旧費



大雨や台風などの災害復旧



公債費



施設整備などで借りたお金の返済

その他



預貯金など

【参考】鹿屋市における歳出予算の内訳(目的別)

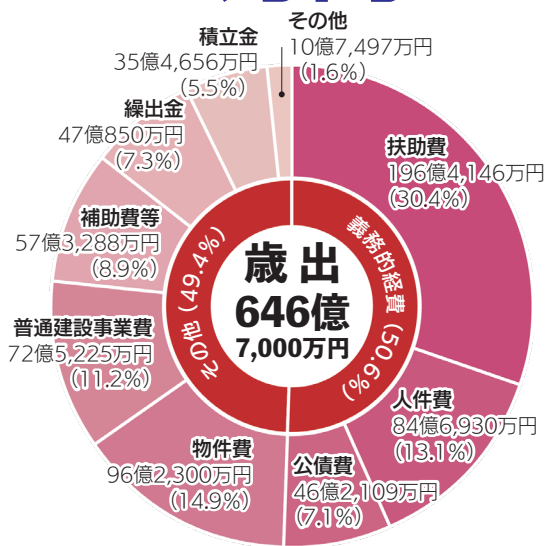
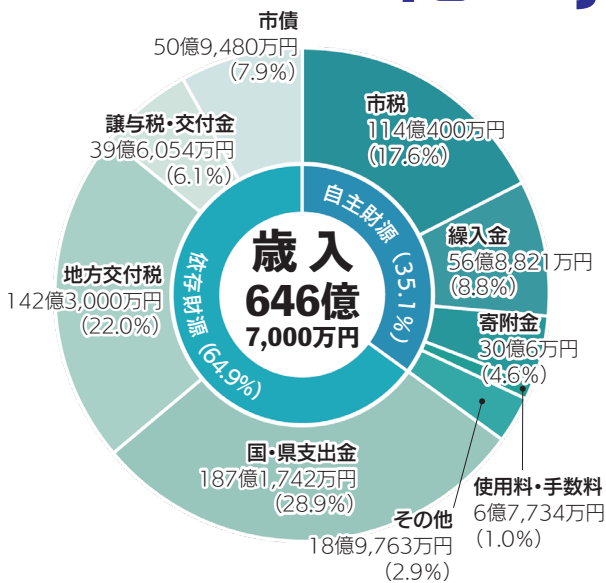
※令和7年度一般会計予算より

目的	予算額	構成比	目的	予算額	構成比
議会費	2億 8,266 万円	0.4%	土木費	40億 2,753 万円	6.2%
総務費	70億 7,575 万円	10.9%	消防費	16億 481 万円	2.5%
民生費	269億 8,358 万円	41.7%	教育費	81億 4,173 万円	12.6%
衛生費	33億 9,821 万円	5.3%	災害復旧費	5億 4,177 万円	0.8%
労働費	6,820 万円	0.1%	公債費	46億 2,109 万円	7.2%
農林水産業費	29億 2,092 万円	4.5%	その他	41億 4,015 万円	6.5%
商工費	8億 6,360 万円	1.3%	合計	646億 7,000 万円	100.0%

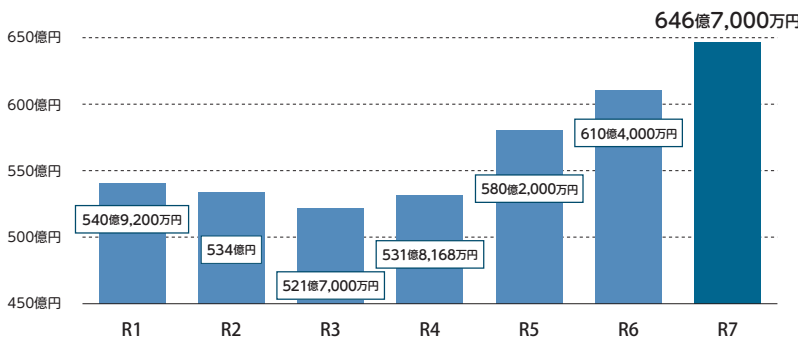
令和7年度の予算

令和7年度一般会計当初予算

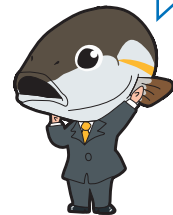
646億7,000万円



一般会計予算額の推移



一般会計予算は近年増加傾向にあり、令和7年度は過去最大規模となりました。



令和7年度特別会計当初予算

区分	R7当初予算
国民健康保険事業	110億5,300万円
後期高齢者医療	16億8,800万円
介護保険事業	116億4,100万円
合計	243億8,200万円

令和7年度公営企業会計当初予算

区分	水道事業	下水道事業
収益的收入	16億9,749万円	9億1,598万円
収益の支出	16億4,039万円	8億6,057万円
資本的收入	3,568万円	4億3,944万円
資本の支出	12億202万円	7億5,350万円

『かのや家』の家計簿

予算について身近に感じてもらうために、鹿屋市の予算を一般家庭の家計に例えて置き換えてみました。 (『かのや家』の家計簿)
収入と支出について、それぞれのイメージをつかみましょう。

金額は、令和7年度一般会計当初予算の額を10万分の1にしたものです。



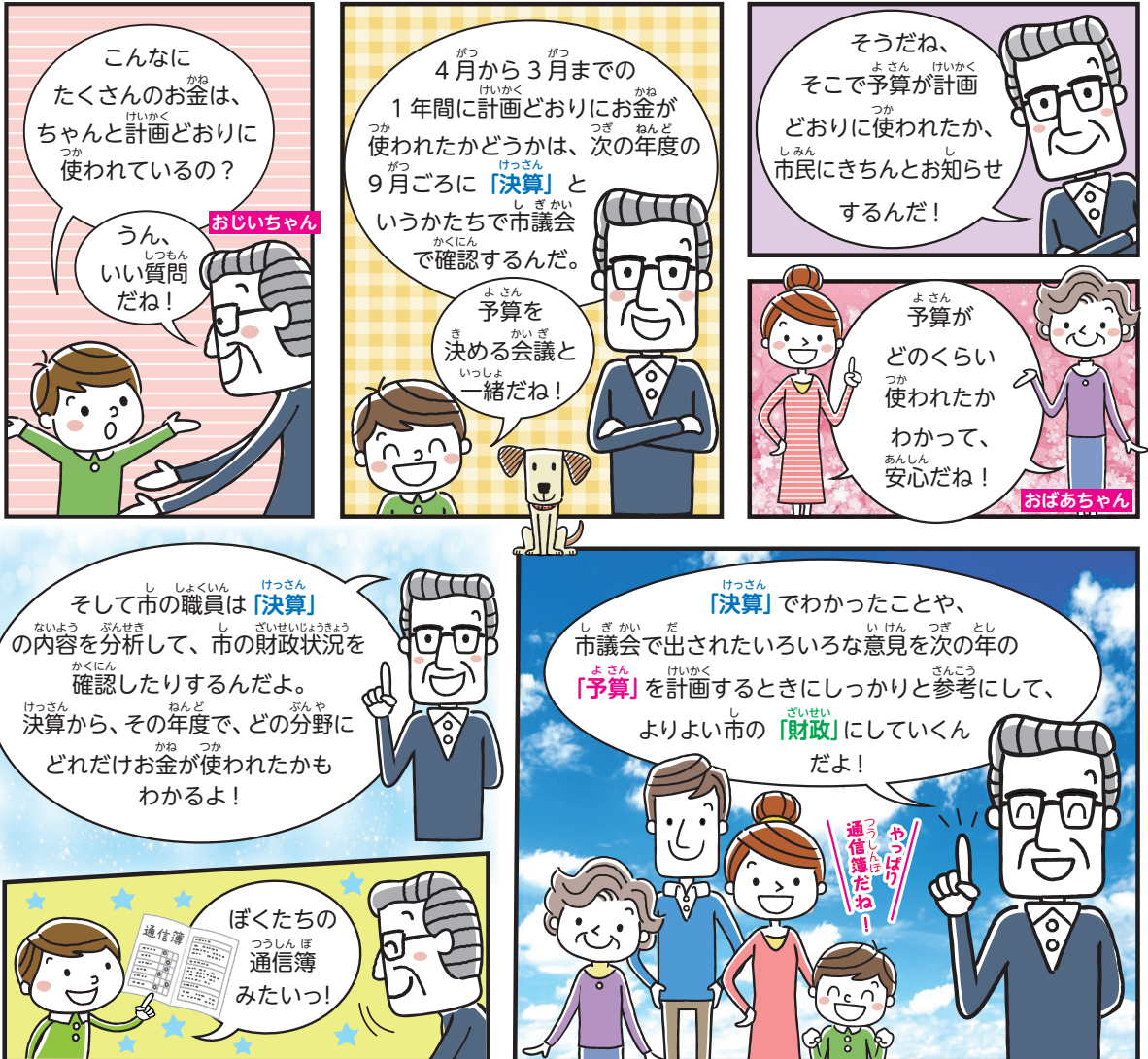
収入

	収入内訳	(市予算上の性質区分)	金額
自主財源	給料	(市税)	114,000円
	雑収入	(使用料及び手数料)	50,000円
	⇒アルバイト代、家賃収入など(分担金及び負担金) など		
	預貯金の取り崩し	(繰入金)	57,000円
	前月の収入の残り	(繰越金)	6,000円
依存財源	親からの援助	(国庫支出金)	187,000円
	⇒使い道の決められたお金	(県支出金)	
	親からの援助	(地方交付税)	182,000円
	⇒自由に使えるお金	(地方譲与税) など	
	借入(ローン)	(市債)	51,000円
収入合計			※647,000円
預貯金の残高			(積立基金の残高合計) 令和5年度末現在高 246,000円

支出

	支出内訳	(市予算上の性質区分)	金額
	食費	(人件費)	85,000円
	医療費・教育費	(扶助費)	197,000円
	家のローンの返済	(公債費)	46,000円
	家の増改築	(普通建設事業費)	73,000円
	自然災害による家の補修費	(災害復旧事業費)	5,000円
	光熱水費、日用雑貨	(物件費)	96,000円
	家や車の修繕費	(維持補修費)	4,000円
	町内会、サークル会費	(補助費等)	57,000円
	預貯金	(積立金)	37,000円
	知人に貸したお金	(貸付金)	
	子どもへの仕送り	(繰出金)	47,000円
支出合計			647,000円
ローンの残高			(市債残高) 令和5年度末現在高 358,000円

決算のしくみ



決算の報告と認定

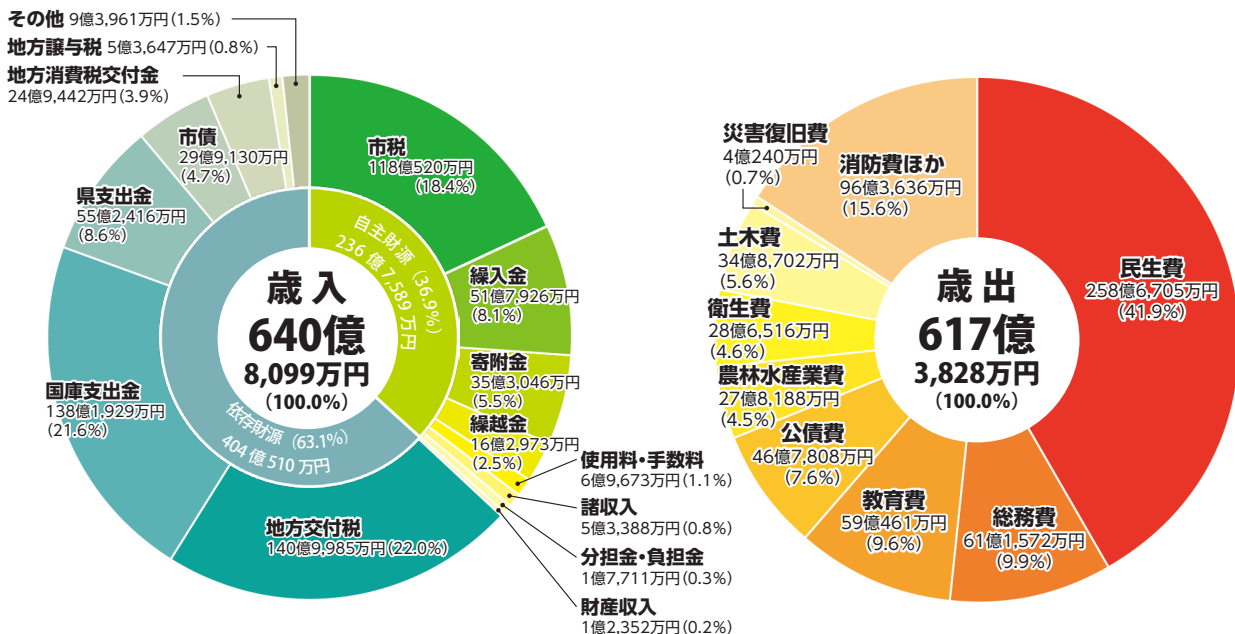
市は、予算に対する1年間の収支の結果をまとめた決算書を作成します。決算書は、監査委員の審査を受けた後、市議会の認定を受けます。認定後は、「広報かのや」や市ホームページなどで決算の内容を市民のみなさんにお知らせしています。



鹿屋市の決算 (令和5年度)

決算では、1年間にどれくらいのお金が入り使われたかについて知ることができます。鹿屋市の実際の決算を見てみましょう。令和5年度の一般会計では、1年間に約640億円のお金が入り、約617億円のお金が使われたことがわかります。

一般会計決算



特別会計と企業会計でも、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

特別会計決算 (令和5年度)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	120億5,896万円	114億6,603万円
後期高齢者医療	14億9,613万円	14億8,607万円
介護保険事業	123億1,709万円	118億2,390万円

企業会計決算 (令和5年度)

会計名		収入	支出
水道事業	収益的	17億4,822万円	15億5,808万円
	資本的	2,914万円	7億9,630万円
下水道事業	収益的	9億3,471万円	8億3,326万円
	資本的	3億7,577万円	6億9,605万円

決算からわかること

決算では、実際にどのような分野に、どれだけのお金が使われたかを知ることができます。鹿屋市の令和5年度決算を見ると、幅広い分野にお金が使われている中、「福祉・保健・医療」や「子育て・教育」に使われた割合が大きいことがわかります。

分野別に見るお金の使われ方（令和5年度鹿屋市一般会計決算より）

※（ ）は、市民1人あたりの額（令和6年3月31日現在 97,347人）



福祉・保健・医療に

市民の健康増進、予防接種や生活衛生など

172億7,602万円
(177,468円) 28.0%



子育て・教育に

子育て支援、学校教育、市立学校（小中学校、鹿屋女子高、看護専門学校）の管理運営、保育所や幼稚園などの整備・運営支援、生涯学習の推進、文化財の保護、青少年育成など

150億1,294万円
(154,220円) 24.3%



行政の運営等に

庁舎等の管理、市の計画策定、選挙、監査、議会の運営、基金の積立など

94億4,996万円
(97,075円) 15.3%



道路や学校の建設などに活用した市債の返済に

事業を実施するために借り入れた市債の償還

46億7,808万円
(48,055円) 7.6%



道路や住宅、公園など計画的なまちづくりに

道路や河川、都市公園、市営住宅等の整備・維持管理、都市計画など

40億9,285万円
(42,043円) 6.6%



産業振興や観光の推進に

企業誘致・立地の促進、商工業の振興、雇用の促進、観光PRなど

37億3,477万円
(38,365円) 6.0%



農林水産業の振興に

農林水産業の経営体制・生産基盤の強化、農作業の省力化・生産性向上、担い手確保など

27億5,531万円
(28,304円) 4.5%



防災、災害復旧に

消防、防災や災害復旧など

18億2,172万円
(18,713円) 3.0%



環境対策に

ごみの処理や減量・リサイクル、不法投棄防止対策など

15億1,880万円
(15,601円) 2.5%



地域の活性化に

交通対策、スポーツ振興、地域づくりや市民活動支援など

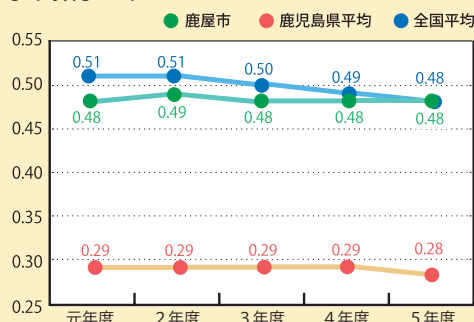
13億9,781万円
(14,359円) 2.2%

データで見る鹿屋市の財政状況

決算の結果をもとに、市の財政の豊かさを示す「財政力指数」などの財政指標が算出されます。これらのデータから、各地方公共団体の財政状況を知ることができます。

財政力指数 0.48%

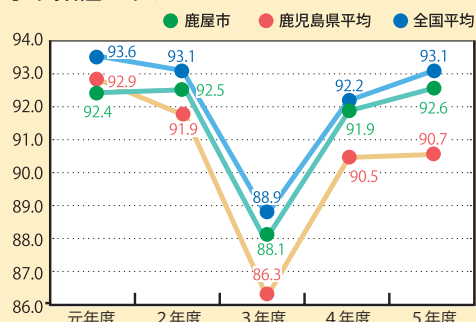
地方公共団体の財政力を判断する指標。「基本的な財政運営を行うための経費」を「市税などの独自の収入」でどれだけ賄えているかを示す数字です。



一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされています。

経常収支比率 92.6%

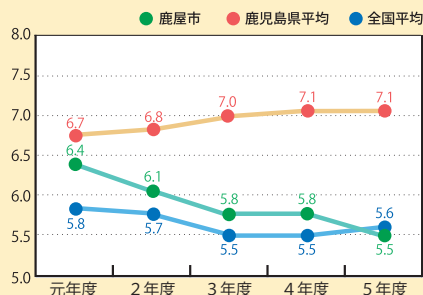
財政構造の弾力性を判断する指標。毎年度経常的に支出される経費に経常的に収入される経費がどの程度充当されているのかを示す数値です。



比率が低いほど政策的・臨時的にお金を支出する余裕のある状態を示します。

実質公債費比率 5.5%

借入金の返済額等の大きさから、資金繰りの危険度を図る指標。家計に例えると、1年間の年収に対する借金返済額の割合で、数値が低いほど財政状況は健全であるといえます。



健全化判断比率 & 資金不足比率

「健全化判断比率」は財政の健全度を診断する4つの指標です。令和5年度はいずれも国が定める基準をクリアしており、鹿屋市の財政は健全な状態にあるといえます。

指数項目	令和5年度	令和4年度	内 容
実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	一般会計等の赤字の程度を示す比率
連結実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	全ての会計の赤字の程度を示す比率
実質公債費比率	5.5%	5.8%	収入に対する公債費の占める割合を示す比率
将来負担比率	— 将来負担なし	— 将来負担なし	実質的な借金残高から将来財政への圧迫度を示す比率
指数項目	令和5年度	令和4年度	内 容
資金不足比率	— 資金不足なし	— 資金不足なし	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率

鹿屋市のしごと

ここからは、令和7年度に鹿屋市が行う主な事業(しごと)について紹介していきます。

基本的な考え方

令和7年度は、第3次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像

“ひとが元気！まちが元気！「みんなで創る健康都市 かのや」”

の実現に向け、5つの基本目標に基づいた施策・事業を着実に推進する予算として編成しました。なかでも、以下の5つの視点に立ち、重点的な取組を進めます。

5つの重点項目

- ① 人口減少への対応
- ② 魅力ある産業・雇用による活性化
- ③ 子ども・若者に住みよいまち
- ④ 幸せを実感できる社会の実現
- ⑤ シビックプライドの醸成

7つの推し

令和7年度鹿屋市当初
予算の中で特徴的な
取り組みを紹介します。

1 子育て応援!!
5つの無償化

2 東京23区外からの移住にも
最大 100 万円

3 生産力強化で目指す
「農のまちかのや」

4 健康・生きがいづくり
～ココロもカラダも元気ハツラツ!!～

5 ゼロ・カーボンシティ
～未来へとつなぐ～

6 戦後80年事業
～かのや平和のバトン～

7 鹿屋市制施行20周年記念事業
～鹿屋市「ハタチ」の記念～

1

子育て応援!! 5つの無償化

こどもの成長を「全力応援」! 本市独自の支援を行います。

新

1. 病児保育利用料 [子育て支援課]

市が委託している病児保育施設の利用料を無償化します。

新

2. ファミリー・サポート・センター利用料 [子育て支援課]

預かり、送迎、家事支援に関する援助支援の利用料金を無償化します。

拡

3. 子ども医療費(窓口負担ゼロ) [子育て支援課]

18歳に達する年の年度末まで医療費を無償化し、窓口負担を無しにします。

4. 小中学校の給食費 [学校教育課]

5. チャイルドシートの無料貸出 [子育て支援課]



2

東京23区外からの移住にも 最大100万円

県外からの移住・就業者を対象とした新たな市独自の支援金制度を新設するなど、移住・定住を推進します。

新

かのやで暮らす移住応援金 [地域活力推進課]

県外から市内に移住・就業した人に最大で100万円を支給します。

- 単身世帯の場合 10万円
- 2人以上の世帯の場合 20万円
- +18歳未満1人当たり 30万円加算

※令和7年4月1日以降の転入者が対象

※受給要件や申請期限あり



新

奨学金返還支援補助金 [商工振興課]

就職者の奨学金を代理返還した市内企業に対して、返還額の1/2以内の額を市が補助します。

3

生産力強化で目指す 「農のまちかのや」

認定農業者等への支援の強化などに取り組むことで、農業産出額の拡大を図ります。

新

農業用機械・施設の導入助成 [農政課]

規模拡大等に取り組む認定農業者や認定新規就農者が、農業用施設・機械を新規導入する際に補助金が受けられます。



対象経費(要件)	認定農業者	認定新規就農者
農業用機械 (認定農業者は規模拡大等)	1/4以内 上限200万円	
農業用施設 (農業用ハウスの新規導入)	1/4以内 上限500万円	1/2以内 上限1,000万円

※国・県の補助対象とならない農業者が対象。

4

健康・生きがいづくり ～ココロもカラダも元気ハツラツ!!～

市民の健康寿命延伸を目指して、「健康・生きがいづくり」を応援します。

新

高齢者福祉共通券の発行 [高齢福祉課]

特定健診や長寿健診等を受診した65歳以上の高齢者に、様々な場面で使える8,000円分の共通券を交付します。

【共通券の使い道】

- ・はり・きゅう施術料
- ・あん摩マッサージ施術料
- ・公衆浴場利用料
- ・健康増進施設利用料
- ・バス乗車賃
- ・タクシー乗車賃
- ・補聴器購入費



5

ゼロ・カーボンシティ ～未来へとつなぐ～

ゼロ・カーボンシティを目指し、個人向け太陽光発電設備・蓄電池導入補助金の予算を倍増するほか、市有施設への太陽光発電設備の導入や脱炭素のシンボルの施設としてリニューアルオープンした「湯遊ランドあいら」の活用による脱炭素の取り組みを進めます。



▲脱炭素のシンボル「湯遊ランドあいら」

個人向け太陽光発電設備・蓄電池導入の補助 [生活環境課]

太陽光発電設備・蓄電池の導入に対する補助金の予算を倍増します。

6

戦後80年事業 ～かのや平和のバトン～

令和7年は、終戦から80年の節目の年となります。本市では、戦没者を追悼し、平和を祈念するとともに、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へつなげるための様々な取り組みを行います。

新

戦後80年特別企画展、創作演劇の開催等 [ふるさとPR課 ほか]

- ・子ども平和学習ガイドの育成・活用
- ・戦跡デジタルマップの制作
- ・戦跡ウォーキング など

新

戦後80年合同戦没者追悼式 [福祉政策課・串良総合支所 住民サービス課]

7

鹿屋市制施行20周年記念事業 ～鹿屋市「ハタチ」の記念～

平成18年に1市3町が合併して誕生した新「鹿屋市」。一年を通じて、未来に向けた様々な事業を展開します。

新

- 市制施行20周年記念式典・20周年記念表彰 [総務課・政策推進課]
- 地元出身アーティスト「C&K」 凱旋ライブの開催 [ふるさとPR課]
- 開運なんでも鑑定団出張鑑定大会の公開収録 [ふるさとPR課] など

主な事業 (しごと)

これらの事業は、第3次鹿屋市総合計画で掲げる5つの基本目標と市政運営に位置付けられています。

基本目標 1

やってみたい仕事広がるまち

【予算額】21億 559万円

農林水産業の振興や、商工業の活性化、雇用促進への取り組み

pick up 新規 有機農業の推進

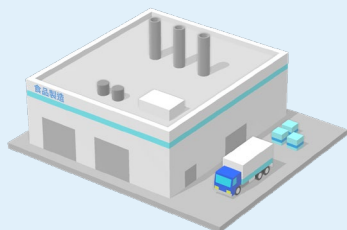
100万円



実証展示ほ場の設置や技術指導講習会の開催、学校給食等への出荷・配送実証などに取り組みます。【農政課】

pick up 新規 企業誘致及び立地推進体制の強化

1,077万円



全国の企業への立地意向調査のほか、専門家の活用により企業誘致産業用地整備体制の強化を図ります。【政策推進課】

pick up 新規 高校生による地元企業プロモーション

99万円



働くことへの理解を深める取り組みとして市内の高校生による市内企業のPR動画制作を行うほか、企業と高校生を結ぶ合同企業説明会を開催します。【商工振興課】

基本目標 2

交流で賑わうまち

【予算額】27億6,627万円

地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流促進、移住・定住の推進

pick up 新規 団体旅行誘致事業補助金の創設

160万円



貸切バスを利用して市内を周遊する商品を企画販売する旅行会社に対してバス代を助成します。【ふるさとPR課】

pick up 新規 野里運動公園のオープン

2億3,620万円



11月に供用開始を予定している野里運動公園の整備及びこけら落としイベント等を実施します。【市民スポーツ課】

pick up 新規 魅力ある観光地の形成

331万円



市内の観光施設の整備や地域資源を生かした魅力的な観光地づくりに取り組みます。

【各総合支所・地域活力推進課】

輝北うわば公園の活性化	30万円
大塚山公園の活性化	23万円
黒羽子観光農園の賑わい創出	248万円
古江地区の活性化	30万円

基本目標 3

こども・若者の未来を創るまち

【予算額】48億8,550万円

子どもまんなか社会の推進や子どもを産み育てやすい環境づくりの推進

pick up 拡充 かわいい孫への贈り物事業 1,588万円

対象の乳児	交付額
第1子	12,000円
第2子	18,000円
第3子以降	24,000円



乳児の保護者に交付する育児用品購入助成を拡充し、第2子以降の交付額を増額します。

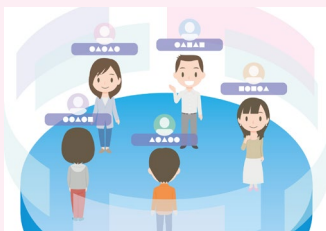
【子育て支援課】

pick up 拡充 産後ケア(育児サポート)の無償化 1,253万円



育児に不安を抱える母子が安心して子育てをできるよう産後ケア施設の利用者負担分（上限5日分）を無償化します。【こども家庭課】

pick up 拡充 ICTを活用した婚活イベント等 273万円



メタバース上での婚活イベントなど様々な結婚ニーズに対するきめ細やかな取り組みを実施します。

【人口減少対策本部】

pick up 新採 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

【子育て支援課】 1,459万円

基本目標 4

安心して暮らし続けられるまち

【予算額】51億6,943万円

快適な生活基盤づくりや安全安心な生活の実現、環境にやさしいまちづくりの推進

pick up 拡充 デマンド交通のエリア拡大 300万円



串良地域におけるコミュニティ交通を見直し、乗合ワゴンによるデマンド交通を運行します。

【地域活力推進課】

pick up 新採 学校周辺の通学路灯・区画線整備 1,885万円



通学路灯の新設や区画線の補修を行い通学路の安全確保を図ります。

【安全安心課・道路建設課】

pick up 拡充 デジタル郵便の充実 99万円



市からの通知を受け取れるスマートフォンアプリに子育て関連の電子書籍サービスを導入し、利便性の向上を図ります。【デジタル推進課】

基本目標 5

ともに支えあい、
いきいきと暮らせるまち



【予算額】16億9,892万円

地域共生社会の実現や、生涯健康で生きがいを
持って暮らせる社会の推進

pick up 带状疱疹ワクチン予防接種助成 2,203万円



65 歳の人等を対象に予防接種費用の一部を助
成し、健康寿命の延伸を目指します。

【健康増進課】

pick up 高齢者元気度アップ・ポイント事業の充実 1,166万円



同事業のポイントや活動履歴を確認できるアプリ
の導入により利便性の向上を図り、高齢者の介
護予防や健康増進を推進します。【高齢福祉課】

pick up 地域共生社会の実現に向けた体制強化 8,400万円



高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等を世代・
属性を問わず一体的に支えるため、包括的な支
援体制を強化します。【福祉政策課ほか】

市政運営

第3次総合計画の
着実な推進のために



【予算額】8億1,344万円

持続可能な行財政運営、市民の声を生かした施
策の推進

pick up 生成AI等の導入 783万円



業務効率化を図る生成 AI の導入など自治体
DX を進める技術を積極的に活用します。

生成 AI の導入による業務最適化
【デジタル推進課】 132 万円
AI入所選考システム(保育所等)導入
【子育て支援課】 651 万円

pick up 税証明・収納窓口の業務効率化 2,648万円



税証明・収納窓口の民間委託等により、税収
の安定的な確保に向けた効率化を図ります。

【税務課・収納管理課】

pick up 新たな地域おこし協力隊の活用 2,671万円



新たな隊員を採用し、それぞれ地域協力活動を行
い任期終了後の定住・定着を図ります。

【地域活力推進課ほか】

名 称	活動目的
課題提案型 協力隊	地域課題の解決策などを市へ提案 実践
農業機械 オペレーター	集落営農組織や農作業受託組織など の事務・農作業の支援
黒羽子観光 農園協力隊	果樹等の栽培知識・技術の習得及び 観光農園の情報発信などの活性化

財政のギモン

予算の4割を占める

Q

民生費って何に使われるの？

A

民生費とは、高齢者福祉や医療、保育費などに使われるお金のことで、市の一般会計予算の約4割を占めています。民生費は、安心して子育てをするための環境整備や、障がい者の日常生活及び社会生活を支援するための取組、高齢者が充実した生活を送るための支援などを中心に使われています。

《令和7年度一般会計予算》



子育て支援

約113億円

- 保育所等の運営費
- 保育料の軽減
- 子ども医療費の助成
- おむつ等助成券の配付 など



高齢者支援

約44億円

- 介護保険、後期高齢者医療事業に要する経費（特別会計繰出金）
- 高齢者等訪問給食サービスの実施 など

※この他、特別会計において高齢者支援を行っています。
(後期高齢者医療 約17億円、介護保険 約116億円)



障がい者支援

約71億円

- 自立を支援する各種障がい福祉サービスの実施など



その他

約42億円

- 国民年金・国民健康保険事業に要する経費や生活保護費など

Q

私たちの教育に使われている教育費はどうなっているの？

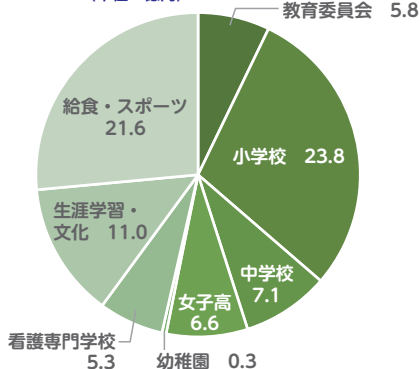
A

教育費とは、教育委員会の運営や、市立の小中学校・女子高、看護専門学校で使う物品の購入や修繕、校舎の建設や改修などの学校の管理のほか、文化・スポーツの振興などに使われているお金のことです。

教育費(約81.4億円)の内訳

(令和7年度)

(単位：億円)



小学校の管理運営にかかる予算(総額 23.8 億円)



- 児童1人あたりの教育費(令和7年度小学校費)

年間	約399,400円
月額	約33,300円

※鹿屋市内の児童数 5,951 人(令和7年5月1日現在)

中学校の管理運営にかかる予算(総額 7.1 億円)



- 生徒1人あたりの教育費(令和7年度中学校費)

年間	約230,800円
月額	約19,200円

※鹿屋市内の生徒数 3,072 人(令和7年5月1日現在)

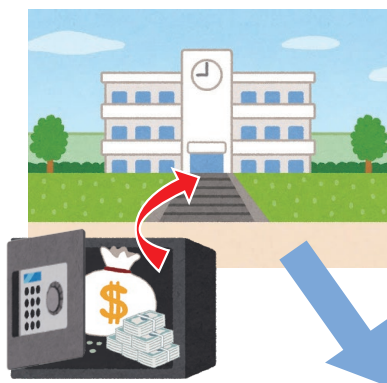
Q

どうして借金（市債）をするの？

A

学校や道路などの公共施設を整備するには、一時的に多くのお金が必要です。この費用をその年の収入だけで賄おうとすると、他の必要な公共サービスに使うべき費用が足りなくなります。公共施設は将来の市民も利用することから、世代間での負担の公平性を図るために、市債（借金）を活用しています。

もし、学校の建て替えに必要なお金を一度に支払ってしまうと…



学校の運営管理、通学路の整備、ごみの回収など他の仕事に必要なお金が足りなくなるかもしれません。

市債を使わないと…



市債を使うと…



その年の市民にだけ、大きな負担をお願いすることになってしまいます。



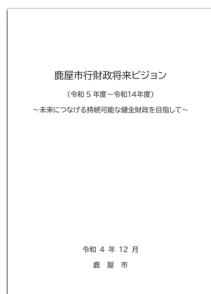
財政用語集

	用語	用語説明
歳入に関すること	一般財源	市税や地方交付税など、使途が特定されずに市が自由に使い道を決められる収入のこと。
	特定財源	使い道があらかじめ決められている収入のこと。国から交付される国庫支出金や県から交付される県支出金、市営住宅や市施設の利用率など。
	市税	市に納められる税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など。
	地方交付税	地方税収の差などを調整するために、財源が足りない地方公共団体に対して国から交付されるお金。「普通交付税」と「特別交付税」があります。
	国庫支出金	市が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。
	県支出金	市が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金。
歳出に関すること	義務的経費	一般会計の歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせたもの。毎年支出が必要となる固定的な経費。
	人件費	職員の給料や、退職手当などを合計したもの。
	扶助費	児童手当、生活保護、保育所・認定こども園などの運営、医療費の援助など、主に福祉や医療に必要な費用。
	公債費	公共施設の建設などのために借り入れした市債の返済などに要するお金。元金と利子、市債発行や返済にかかる手数料なども含む。
その他	基金	自治体の貯蓄のことで、それぞれ目的をもって積立・取崩が行われています。 【鹿屋市の主な活用基金】 ふるさと鹿屋応援基金、地域振興基金、財政調整基金など
	市債	長期間にわたって使われる道路や公園など、公共施設の整備や保全・更新の事業のために借り入れるお金。 【参考】令和5年度末の市債残高：358億3,640万円
	ふるさと納税	自分が応援したい自治体に寄附を行うと、特産品等の返礼品や税額控除を受けられる制度です。鹿屋市では、全国から集まった寄附金を「ふるさと鹿屋応援基金」として積み立て、次年度に地域活性化、健康、福祉、環境保全、教育・文化・スポーツ振興など、市の様々な事業に活用しています。 【参考】鹿屋市のふるさと納税寄附金額 35億1,341万円（令和5年度）



▲ふるさと納税について
(鹿屋市ホームページ)

鹿屋市の財政について調べる



▲「鹿屋市の財政状況」
(鹿屋市ホームページ)

鹿屋市行政将来ビジョン
(R5 ～ R14)

鹿屋市の情報を知る



▲鹿屋市総合アプリ「かのやライフ」で、市からのお知らせやイベント情報など発信しています。